

ブリ類のべこ病の調査・研究について学会発表しました

平成29年3月22日 水産技術開発センター

3月11～12日、日本大学で開催された平成29年度日本魚病学会春季大会において、『ブリ類のべこ病のシスト形成に関する研究』と題してポスター発表を行いました。

今回は、カンパチ人工種苗を使用した感染試験や環境水中のべこ病原虫の遺伝子量と魚体の感染状況の調査結果から、シスト形成には種苗の沖出し時期の水温が影響している可能性があること、宿主側の生体防御能の差でシスト形成に差が生じる可能性があること等を発表しました。今後もべこ病の感染メカニズムの解明と被害軽減に向け、調査研究を進めていきたいと思っております。なお、当研究は農林水産省委託事業等を活用し、国立研究開発法人水産研究・教育機構増養殖研究所と共同で実施しました。

